

News Release

平成 25 年 3 月 1 日
株式会社日本政策投資銀行
代表取締役社長 橋本 徹

日本合成化学工業(株)に対し、 「DBJ 環境格付」に基づく融資を実施

－7 年連続最高ランクの格付を取得－

株式会社日本政策投資銀行（代表取締役社長：橋本徹、以下「DBJ」という。）は、日本合成化学工業株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長：小笠原憲一、以下「日本合成化学工業」という。）に対し、「DBJ 環境格付」に基づく融資を実施しました。

「DBJ 環境格付」融資は、DBJ が開発したスクリーニングシステム（格付システム）により企業の環境経営度を評点化、優れた企業を選定し、その評価に応じて融資条件を設定するという、「環境格付」の専門手法を導入した世界で初めての融資メニューです。

日本合成化学工業は、昭和2年に日本初の合成酢酸メーカーとして設立され、合成酢酸の誘導品であるポリビニルアルコール（PVOH）や食品包装などに使われるエチレン・ビニルアルコール共重合樹脂において世界有数のシェアを有する、三菱化学グループの素材メーカーです。近年では、液晶ディスプレイの偏光板用PVOHフィルムをはじめとする情報電子材料など、今後の成長が期待される分野で積極的な展開を図っています。

今回の評価では、(1)環境配慮型素材の提供に加え、産学官連携により燃料電池車用の水素燃料タンクの材料を共同研究する等、継続的に環境・エネルギー分野の技術革新に取り組んでいる点、(2)LIME2(注)を用いて、事業活動全般に亘る環境影響を把握し、とりわけ生物多様性に与える影響を最小化するために排水、土壌汚染、大気汚染への適切な配慮を行っている点、(3)熊本工場でのバイオマスボイラー導入等、事業活動に伴う温室効果ガスの低減に積極的に努めている点、(4)汚泥の削減やマテリアルリサイクルの促進等により2年連続でゼロエミッションを達成している点、などを高く評価しました。

その結果、日本合成化学工業は「環境への配慮に対する取り組みが特に先進的」という最高ランクの格付を7年連続で取得しました。

DBJは、企業理念「金融力で未来をデザインします～私たちは創造的金融活動による課題解決で、お客様の信頼を築き、豊かな未来を、ともに実現していきます～」に基づき、環境配慮型経営に向けたお客様の取り組みを積極的に支援してまいります。

(注)「LIME2」：日本版被害算定型ライフサイクル環境影響評価手法(Life-cycle Impact assessment Method based on Endpoint modeling)の第二版のこと。

【お問い合わせ先】

関西支店 企画調査課 電話番号 06-4706-6455